

仕 様 書

1 飼料品目・成分に関する条件及び購入予定数量

次の品目毎に成分を満たす飼料とする。

(子豚用飼料)

飼料の種類	対象家畜等	成分条件 CP%以上、かつ、 〔TDN%以上〕	荷姿容量	購 入 予定数量
ほ乳期子豚育成用配合飼料 (人工乳前期～中期)	ほ乳期子豚 (体重がおおむね 30 kg以内の豚)	20.5 〔82.0〕	袋 20 kg	250 袋
ほ乳期子豚育成用配合飼料 (人工乳後期)	ほ乳期豚 (体重がおおむね 30 kg以内の豚)	18.0 〔80.0〕	バラ t (袋 20 kg)	12 t (600 袋)

(肥育・種豚用飼料)

飼料の種類	対象家畜等	成分条件 CP%以上、かつ、 〔TDN%以上〕	荷姿容量	購 入 予定数量
子豚育成用配合飼料	子豚 (体重がおおむね 30 kg～70 kgの豚)	14.5 〔77.5〕	バラ t	60 t
肉豚肥育用配合飼料	肉豚 (体重がおおむね 70 kgを超えた豚)	11.0 〔76.0〕	バラ t	70 t
種豚育成・種豚飼育用配合飼料	種豚 (体重がおおむね 60 kgを超えた豚)	14.0 〔72.0〕	バラ t	70 t

2 飼料の搬入方法

搬入に当たっては、以下の項目に従うこととする。

- (1) 搬入日は、前週までに双方協議のうえ決定する。なお、配送当日は当研究所が一番目の配送場所とする。
- (2) 飼料運搬車両は必ず研究棟車庫前で車両消毒を受け、当研究所が準備する防疫服・手袋・専用長靴を着用し、専用フロアマットを運転席の足元に敷いた後、外部飼料タンク（又は燻蒸飼料庫）に向かう。
- (3) バラ輸送車両は外部飼料タンク付近の薬浴槽でタイヤ消毒後タンクに詰め込む。また、袋物輸送車両は同様に薬浴槽でタイヤ消毒後、車両運転手本人が燻蒸飼料庫に準備されたパレットに納品する。
- (4) 搬入用トラックは研究所構内道路を通行可能な積載重量の車両とする。

(5) その他、防疫上必要な事項が生じた場合は、所員の指示に従うものとする。

3 支払方法

代金の支払いは1か月ごとの精算払とし、項目ごと・納入日ごとに端数処理する。

4 その他

(1) 袋物飼料の発注袋数は、可能な限り最低50袋とする。

(2) バラ飼料の1回の発注量は、最低1tとする。

(3) 配送は週1回もしくは2回とする。